

活動報告

はじめに

道央技術士会では2008年度の下半期の活動として、1月27日に講演会を共催しました。

1. 道央技術士会講演会

主催は寒地土木研究所道央支所です。

「寒地土木研究所 第1回技術者交流フォーラム in 室蘭」——環境イニシアティブを先導する技術——

講演場所：ホテルセピラス花壇

講演日時：平成21年1月27日

13時30分～17時00分

講演会は室工大田村教授の基調講演にはじまり、開発局及び寒地土木研究所からの研究発表がありました。

当会からは、民間技術ということで(株)今組代表取締役今紀衛様と当会会員でもある(株)檜崎製作所 開発担当部長清野勝博様に講演をお願いしました。

以下その内容を簡単に報告します。

講演1 「ハイブリット発電システムの開発と多機能化技術について」(株式会社 今組代表取締役 今紀衛様)

講演時間：16時00～16時20分

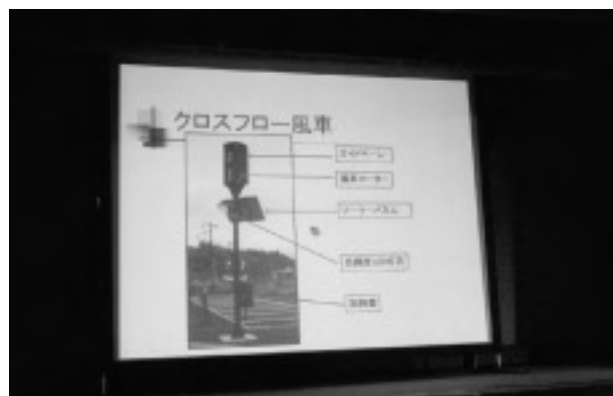


今様講演

風車の原理とソーラーシステムを組み合わせたエコ技術です。開発では部品の調達に大変苦労しまし

た(大手は売ってくれない)、現在の商品化までに20年ほどかかりました。(途中開発を停止していた期間がある)製品化したものに街路灯等があり、室蘭市内や札幌のJR大塚駅前に納品しています。北海道大学との共同研究テーマであり、国土交通省の新技术での補助をうけています。

製品宣伝のため、神奈川県等の自治体へも営業活動しましたが、販売には至っていません。



システムの説明

講演2 「重金属排水処理技術について」

(株式会社 檜崎製作所 設計部 開発担当部長 清野 勝博様)

講演時間：16時20～16時40分



清野様講演

重金属を含んだ排水を処理するため檜崎製作所が開発した環境浄化装置についての技術説明をしていただきました。

水処理関連では、建設・水産・農業・工業・廃棄物系処理や高濃度酸素溶解装置の開発、販売。その他エネルギー関連等環境技術を開発及び提供しているようです。

2. 第18回道央技術士会総会

恒例となっている道央技術士会総会を開催しました。総会では、会員でもある栗山様（苫小牧高等専門学校環境システム科教授）に環境について講演していただきました。

講演及び総会場所：ホテルサンルート

日 時：平成21年4月14日

講演時間：18時00分～18時30分

講演題目：「最近の環境に関する話題」

総会（情報交換会）

総会時間：18時30分～20時00分



栗山様講演

宇宙の誕生（150億年前）と地球の誕生（46億年）、から始まり、これからの人類存亡に関わる環境問題等（地球温暖化、エネルギー・食料、人口）について話していただきました。人口問題については、ある程度の食料と教育があれば、人口増加は止まるという話が興味深かったです。講演は30分という短い時間では説明しきれないほどの内容でした。

この後、久々の情報交換で盛り上がった懇親会もあっという間に過ぎ、再会を期して散会となりました。



講演会



情報交換会

※追記

道央技術士会会員で元室蘭工業大学機械科教授の渡部先生が、長年研究されている波力発電についての下記書籍をパワー社から5月に出版されました。部外者でも分かり易い内容とのこと。興味のあるかたは、ぜひお買い求めください。

「実用化に向かう波力発電」

（2009年5月、渡部著、パワー社）

※おわりに

以上、1月27日に実施した講演会（道央技術士会共催）と第18回道央技術士会総会を報告します。

総会には支部から大谷事務局長がこれら参加者は計16名でした。

なお総会では、長年道央技術士会代表幹事として尽力された小針さんに代わり、岸明仁さんが代表幹事となるとの報告がありました。

小針さん長い間、ありがとうございました。

（文責：道央技術士会 事務局 遠藤 清武）